

## 私たちの生活を支えてくれる税金

美馬市立美馬中学校3年 逢坂 羽瑠菜

小学生の頃、夏休みになると、税の書道に取り組んでいました。小学生の頃は、先生からもらった課題をひたすら書き続け、税について何も知らないに等しい状態でした。そこで、自分なりに税の仕組みについて調べてみると、私たちはいろんな税に助けられて生活していることが分かりました。

その中の一つ、医療費です。私は、小さい頃からアレルギー体質で季節によると、鼻が完全につまり、鼻から息をすることもできなくなり、そのせいで味覚もなくなります。そして何より怖いのが咳で夜も眠れなくなります。月に一度、病院を受診してお薬を処方してもらい、お薬を飲んでいきます。先日も病院へ行きました。母がお金を払う時、いつも六百円を払います。私が、

「こんなにいっぱいのお薬と診察代で六百円は安いな。」

と言うと母は、

「そんな安いわけないだろ。美馬市は、みまっこ医療費助成制度って言うのがあって、十八歳までは、税金で補ってくれとるんよ。助かるよな。」

と教えてくれました。

私たちの住んでいる美馬市では、令和元年九月一日より、みまっこ医療費助成制度の対象を十五歳に達する三月三十一日から、十八歳に達する三月三十日までに拡大したそうです。

私は、これからも病院に通い、お薬をもらわなければいけません。でも医療費助成制度があるから、両親への医療費の負担を少しでもかけなくていいので、本当にありがたいと思います。世界には医療保険の費用が高額すぎて病気になっても、治療をうける事ができず、命を落とす人がたくさんいるそうです。私は、日本に生まれて幸せだと思います。

今、新型コロナウイルスで多くの人が苦しみ、亡くなったりしています。それにともない、国からたくさんの税金が使われ、多くの人々が救われています。私たちも学校に行けない、中学生最後の部活で総体が中止、大好きな友達と逢えない日々を過ごしてきました。いつまで続くか、分からず悲しくなります。でも、一人一人の心がけで、自分を守り、大切な人を守る事が税金をムダに使わない事になると信じています。

今回、税の作文を書く事で税について分かった事、またこれから理解していかななくてはいけない事が分かりました。私はまだ学生で税金を納める事はできませんが、今自分に与えられている事をしっかり成し遂げ、感謝の気持ちを忘れず精進していきたいと思います。そして、今は守られている立場ですが、将来守る側の立場になった時、税金をしっかり納められる人になりたいと思います。